

歯の相談室



北医療生協歯科 歯科医師
久野 よしの

Q 麻酔の効きが悪い
時があるのはなぜ
ですか

A 歯の神経を麻痺させるためには
歯肉から入れた麻酔液が顎の骨
の中まで浸透しなければ効きません。
ですから顎の骨が緻密ちみつで固い場合は麻
酔液が浸透しにくいので麻酔がききづ
らくなります。

上よりも下の顎の骨のほうあごが緻密な
つくりになっていて前歯よりも奥歯の
ほうあごが骨も厚くなっているため「下の奥
歯」は麻酔が効きにくいのです。また、
歯肉が膿んでいるときは膿が麻酔の作
用を打ち消す酸性の状態なので効きが
悪くなります。痛みが強い時も神経が
痛みに対して敏感になっているため条
件が悪くなります。

効き目が十分でないときには①麻酔
の量を増やす②麻酔を注入する場所を
変えるといった対処法をとりますが、
どうしても効かないときには、薬で急
激な炎症をおさえてから後日改めて治
療をすることも効果があります。治療
中に痛みがあるのは大変つらいことで
す。我慢せずに歯科医師や歯科衛生士
に痛みがあることをお伝えください。